

圧力なべを調べてみました①

テスト期間

平成28年11月～平成29年3月

テスト対象品

北陸三県のホームセンター等で購入した圧力なべ6銘柄



No.1



No.2



No.3



No.4



No.5



No.6

テスト対象品表示等一覧表

No.	材料の種類		寸法 [※] (cm)	満水容量 (L)	設定圧力 (kPa)	価格 (円)
1	本体	ステンレス鋼 (クロム 18%、ニッケル 10%) (厚さ: 1.0mm)	20	3.0	高圧: 80 低圧: 50	8,067
	はり底	アルミニウム (厚さ: 3.2mm) ステンレス鋼 (クロム 18%) (厚さ: 0.5mm)				
	ふた	ステンレス鋼 (クロム 18%、ニッケル 10%)				
2	本体	ステンレス鋼 (クロム 17.5%、ニッケル 3.5%、マンガン 6%、銅 2.5%)	18	3.0	80	6,821
	はり底	アルミニウム・ステンレス鋼 (クロム 18%) (底面の厚さ: 3.1mm)				
3	本体	ステンレス鋼 (クロム 16%) (底の厚さ: 1.2mm)	18	3.5	高圧: 100 低圧: 60	3,980
	ふた	ステンレス鋼 (クロム 18%、ニッケル 8%)				
4	本体	ステンレス鋼 (クロム 18%、ニッケル 8%) (厚さ: 1.0mm)	18	3.2	高圧: 100 低圧: 60	4,980
	はり底	アルミニウム (厚さ: 3.5mm) ステンレス鋼 (クロム 18%) (厚さ: 0.5mm)				
	ふた	ステンレス鋼 (クロム 18%、ニッケル 8%) (厚さ: 1.2mm)				
5	本体	ステンレス鋼 (クロム 18%、ニッケル 8%) (厚さ: 1.2mm)	18	3.2	高圧: 100 低圧: 60	5,659
	はり底	アルミニウム合金 / ステンレス鋼 (クロム 12%) (厚さ: 3.3mm)				
	ふた	ステンレス鋼 (クロム 18%、ニッケル 8%)				
6	本体	ステンレス鋼 (クロム 18%、ニッケル 8%) (厚さ: 1.2mm)	22	3.0	高圧: 100 低圧: 60	8,980
	はり底	アルミニウム合金 (厚さ: 4.15mm) ステンレス鋼 (クロム 18%) (厚さ: 0.6mm)				
	ふた	ステンレス鋼 (クロム 18%、ニッケル 8%)				

※圧力なべの内径

圧力なべを調べてみました②

テスト結果

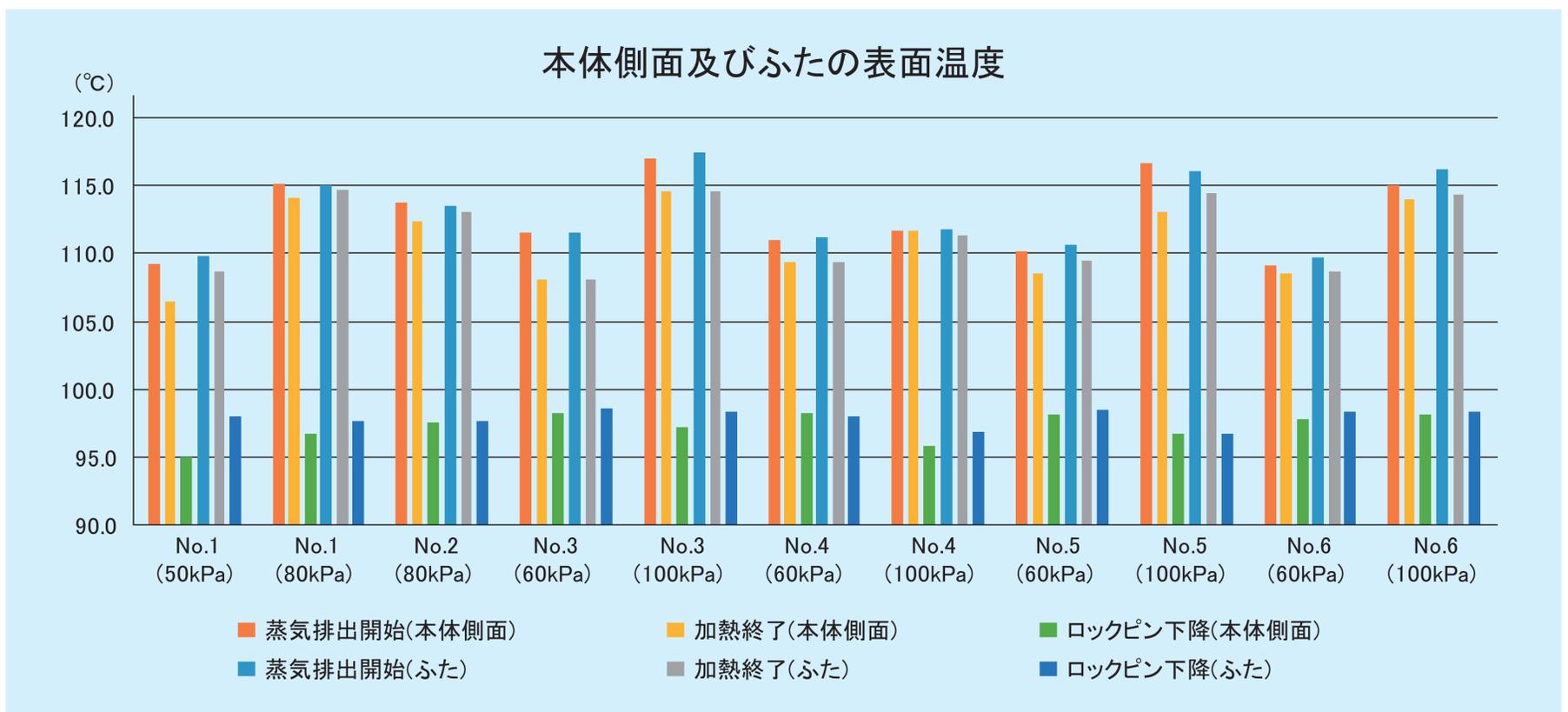
■表示事項

- 家庭用品品質表示法雑貨工業品品質表示規程に定められている「表面加工」、「材料の種類」、「寸法」、「満水容量」、「取扱い上の注意」、「表示者名等」（氏名又は名称、住所又は電話番号）の表示は、全銘柄で適正になされていました。
- 製品安全協会の定めた「家庭用の圧力なべ及び圧力がまの SG 基準」に適合していることを示す「SG マーク」は、全銘柄で表示されていました。SG マーク制度は、SG マーク付き製品の欠陥によって発生した人身事故に対する補償制度です。

■仕様等

- 内径は、全銘柄で表示値の $\pm 3\%$ 以内を満たしていました。
- 満水容量は、全銘柄で許容範囲（表示値の $\pm 5\%$ 以内）を満たしていました。

■安全性



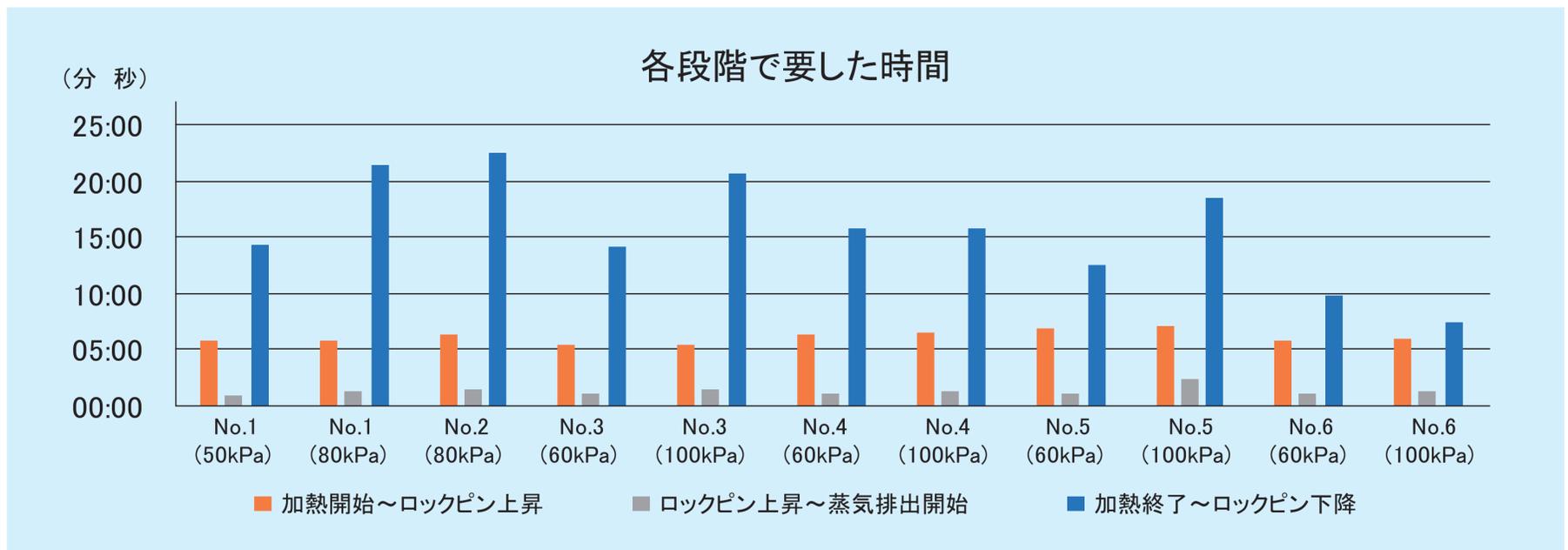
- 本体側面及びふたの表面温度は、蒸気排出開始までに全銘柄で 100°C を超えており、特に高圧側（No.2 は 80kPa のみ）では、全銘柄で 110°C を超えていました。
- 加熱を止め、ロックピンが下降し、ふたの開閉が可能となった時点でも表面温度は全銘柄で 95°C を超えていました。
- ふた取っ手（上側）の表面温度は、どの段階でも温度上昇は小さく、全銘柄で $20 \sim 30^{\circ}\text{C}$ 程でした。
- 本体取っ手（下側）の表面温度は、どの段階でも $20 \sim 30^{\circ}\text{C}$ 程の銘柄が多かったが、蒸気排出開始以降 40°C を超えたものが 1 銘柄（No.6）でした。 50°C を超える銘柄はなく、短時間でやけどとなるおそれは少ないと考えられます。

圧力なべを調べてみました③

テスト結果

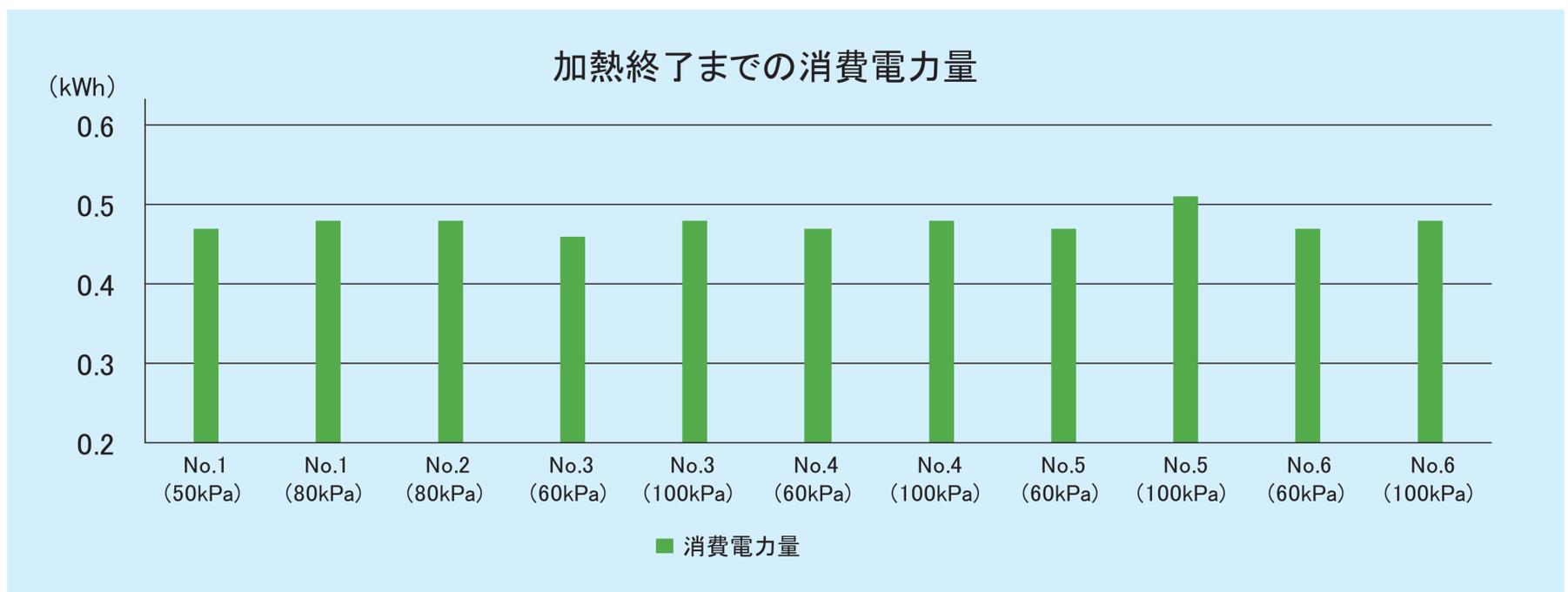
■加熱性能

各段階で要した時間



- 加熱開始からロックピン上昇までの時間は5分26秒～7分03秒の範囲でした。
- ロックピン上昇から蒸気排出開始までの時間は、低圧側(60 kPa以下)では、53秒～1分06秒、高圧側(80 kPa以上)では1分12秒～2分20秒の範囲であり、高圧側で若干長くなる傾向でした。
- 加熱終了からロックピン下降までの時間は、低圧側(60 kPa以下)では、9分50秒～15分46秒、高圧側(80 kPa以上)では7分30秒～22分24秒の範囲であり、圧力の切り替えができる5銘柄のうち、設定圧力の高いほうが、時間が長くなるものが3銘柄(No.1、3、5)ありました。

加熱終了までの消費電力量



- 加熱終了までの消費電力量は、0.46kWh～0.51kWhの範囲であり、銘柄及び設定圧力間で大きな差はありませんでした。

圧力なべを調べてみました④

消費者へのアドバイス

購入時の留意点

- 1 製品安全協会の定めた「家庭用の圧力なべ及び圧力がまの SG 基準」に適合すると「SG マーク」が表示されるので、より安全に使用したい場合は「SG マーク」が表示された銘柄を選びましょう。
- 2 取っ手はなべを持ち運ぶ際のバランスに影響するので、実際に両手で持ち上げて確かめ、持ち易く、安定感のある銘柄を選びましょう。
- 3 銘柄によって、使用できる圧力、容量、使用方法等が異なるので、取扱説明書や操作のしやすさ等を確認、自分に合った銘柄を選びましょう。

使用時等の留意点

- 1 圧力なべは、高温高圧を利用した調理器具であり、使い方を誤るとなべの中身が飛び散ったり、火傷を負う場合も考えられます。取扱説明書をよく読み、内容を十分理解してから使用しましょう。
- 2 圧力調整弁、安全弁等の目詰まりは、おもりが飛ぶ等の事故につながるおそれがあるので、使用前に目詰まりしていないか確認しましょう。
- 3 使用後は、パッキンを取り外して汚れ等を洗い落とし、傷や亀裂等がある場合にはすぐに取り換えましょう。
- 4 取っ手の温度が低くても、圧力なべ本体の温度は十分高温なので、火傷をしないようミトン等を用いましょう。
- 5 蒸気口からの蒸気は十分高温であり、触れると火傷のおそれがあるので注意しましょう。
- 6 圧力なべの中身が飛び散る等のおそれがあるので、3分の2（豆類については3分の1）以上の内容物を入れて使用しないようにしましょう。